

物流連、「DPL 流山I」で物流施設見学会を実施

Edited By LogisticsToday On 2019/11/25

日本物流団体連合会(物流連)は22日、物流施設見学会を11月13日に開催したことを発表した。



▲ハンガーラックの説明を聞いている様子(出所:センコー)

見学会には会員企業・団体、事務局など38人が参加し、物流連の会員事業者の一つである「センコー」のマルチテナント型物流施設「DPL 流山I」の共用部分(在館職員用利用の託児所、食堂など)のアメニティーエリアを見学した。

また、3階では同社の顧客である「ユナイテッドアローズ」の基幹物流センターとして開設された全長8キロのハンガーラックシステムや、高速での入出荷作業が可能な3万箱が格納可能なケース自動倉庫「マルチシャトル」と、ピースソーター「リニソート」を組み合わせた大型マテハンシステムなど、入荷から出荷までの一連の流れを見学した。

関連記事

ユナイテッドアローズが物流拠点再編、流山に最新センター(18年5月7日掲載)

<https://www.logi-today.com/315744>

大和ハウス、流山にAI・ロボ導入の大規模物流施設竣工(18年3月28日掲載)

<https://www.logi-today.com/313144>

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/358929>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト, All rights reserved.